



優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

ふれあいネットワーク

まほろば

社協広報

第58号



写真 12月8日 山形村農業者トレーニングセンターふるさと大ホール

平成24年度山形村福祉のつどい

12月8日(土)に山形村福祉のつどいを開催しました。

今回は「心をつなぐ」をテーマに、様々なつながりについて考えようと、講演会や物産展、子供用品リサイクル会等を行ないました。

詳しくは1、2ページをご覧ください。



- 山形村福祉のつどい開催! 1・2
- 複合福祉拠点施設上棟式・施設のご案内 3・4
- まほろばトピックス 5・6
- 赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動の実施結果 7

平成24年度 山形村福祉のつどい

12月8日(土)に山形村農業者トレーニングセンター ふるさと大ホールにて平成24年度山形村福祉のつどいを開催しました。

社会福祉協議会会長表彰

福祉事業協力者の方々へ感謝状が授与されました。

古川寺観音奉賛会 様
平成24年度還暦を祝う会 様

ご協力ありがとうございました。



物産展・奉仕団バザー

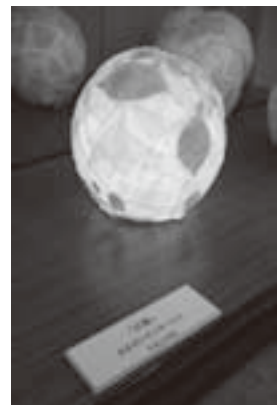
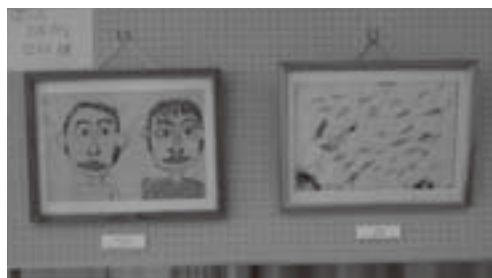
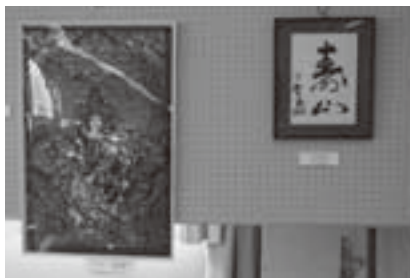
昨年度に引き続き、東北の物産展を行ないました。今年は宮城県石巻市と岩手県山田町の特産品を販売し、売上総利益は被災地へ寄付させていただきました。皆様のご協力ありがとうございました。

また、毎年恒例の日赤奉仕団によるバザーも行なわれ、奉仕団員の手作りによる子供用品も販売されていました。



みんなの絵画展

「共に生きる」を考える会 てまりの皆さんと生きがいデイサービスの皆さんの作品が展示されました。素晴らしい作品や心温まる作品に、皆さん見入っていました。



開催!

テーマ

「心をつなぐ」

子供用品リサイクル会

今年度開催し好評であったチャイルドシートリサイクル会を今回は商品を増やし、山形保育園保護者会の皆様にもお手伝いいた



だき行ないました。とても多くの方にご来場いただき、大盛況でした。

皆さまのご協力ありがとうございました。



講演会

「心をつなぐコミュニケーション力」と題して、親業訓練協会 看護ふれあい研究会会長 中井喜美子氏に講演いただきました。

講演会の初めに親業訓練とは、親子関係を改善し、温かく健全な家庭を築き、子どもの健やかな成長を実現するためのコミュニケーションのトレーニングであり、そのトレーニングはゴードンメソッドと呼ばれる、3つの子育てに必要なコミュニケーションスキルを学習して、身につける訓練である説明がありました。

現在世界47カ国に広がり、日本では1980年に親業訓練協会が創立され、15万人以上の方が勉強されており、中井氏自身も30年余り活動を続けられています。

3つのコミュニケーションスキルとは、①聞くこと、②話すこと、③対立を解くの3つで、主に①と②の実際の事例を交えての講演内容でした。

まず①の聞くことでは、急遽社協会長と副会長によるロールプレイで、2通りの親子の会話を演じていただきました。1つ目は叱咤激励タイプの父親と子の会話、2つ目は能動的な聞き方の父親と子の会話で、実際に子役を演じた会長から能動的な聞き方のほうが、心が「すっきり」したとの感想がありました。聞き方のコツは子の言葉を親が繰り返すこと、次に子の言葉を親が言いかえて伝えること、そして最後に子の気持ちをくむ言葉をかけることにより、「心のキャッチボール」ができ、子自身が自分で考えて、自分で決め、満足して肯定的になり、結果自分を好きになることに繋がっていく過程に、子どもの話を聞くことの大切さを改めて実感しました。

②の話すことでは、親が困りごとを否定的に「やめなさい」ではなく、親自身が困っていることを「私メッセージ」として子に伝えていくコミュニケーションスキルで、これは上司と部下関係や認知症の方への対応にも共通していることや、感情が高まると人間関係が上手くいかないため、親が「私メッセージ」を伝えることで、子の感情は落ち着いていく過程を具体的に「抱っこして欲しい」という子の要求の事例から説明していただきました。「今は抱っこできない理由」を親が「私メッセージ」で子に伝えることで、子が「では、どうするのか」と自分で考えることに繋がっていく過程が、心に響きました。

子どもの話を能動的に聞くこと、親の「私メッセージ」で子に話すことで親子関係が改善されることを学ばせていただきました。最後に、中井氏から「子どもは未来からの留学生」の言葉が印象に残り、未来からの留学生が、健やかな成長をするために大切な親子関係について、改めて考え直す講演会でした。



複合福祉拠点施設

上棟式



11月24日(土)に
ちいの里敷地内に
建設中の複合福祉
拠点施設の上棟式

を行ないました。

また、前日の11月23日(金)には地域のボランティアさん約40名にご協力いただき、餅つきを行ないました。全部で1500個のお餅を用意していただきました。

当日は200名以上の方にお集まりいただき、無事施設が完成することを祈って上棟祭神事を行ない、その後お餅や5円玉、50円玉、お菓子等を拾っていただきました。

無事完成し、地域の皆様に利用していただける施設になるといと思います。



……なんでお餅をなげるの??……

家をたてることは大きなわざわいを招くという考えがあり、その厄をさけるためにお餅や小銭をまいて他人に持ち帰ってもらうという説があるそうです。

また、「家を建てる」とは幸せなことなので、その幸せをみんなに分けてあげるために『餅』や『小銭』をまくことが、地域の中で一緒に生活をしていくための習慣だったようです。

山形村社会福祉協議会

複合福祉拠点施設のご案内

お問い合わせ
社会福祉法人
山形村社会福祉協議会
TEL 0263-97-2102

ホームヘルプステーション いちいの里分室

住み慣れた自宅で豊かに生活が送れるようご本人の生活に合わせ調理や洗濯、排泄介助や体位変換、見守りなどを私たちヘルパーがお手伝いさせていただきます。

※お困りのことがございましたら、気軽にご相談ください。



障害者就労・地域交流センター

障害をお持ちの方も山形村で安心して生活ができるよう支援を行ないます。

就労支援…その人に合った働き方を考えながら、社会自立を目指します。村の方々と一緒に地域ぐるみで協力し合いながら行なっていきます。食堂も開店します。

居場所づくり…生きがいと働きがいの創造の場、ふれあい交流の生活の場と機会を提供します。



小規模多機能型居宅介護事業所

住み慣れた自宅や地域の中で家族や親しい人たちとともにその人らしい生活が送れるように、通い・訪問・泊まりを中心にお手伝いさせていただきます。

また、どなたでも気軽に立ち寄れるふれあいの場を提供させていただきます。



山形村社会福祉協議会
複合福祉拠点施設
完成予想図





デイサービス通信 19

秋の大運動会

夏の暑さも過ぎ、外の山々が紅葉で色づきはじめた10月にデイサービスいちいの里秋の大運動会を開催しました。今年度は午後のレクリエーションの時間を使い、3日間開催しました。運動会は気合の入った選手宣誓から始まり、紅白に分かれて玉入れ競争やパン食い競争を行ないました。競技の後には、職員が大量の片栗粉の中に隠された大福を口だけを使って探し出す『大福探し』を行ない、片栗粉まみれになった職員の顔を見た利用者の方々は普段見られない顔に大いに笑われておりました。



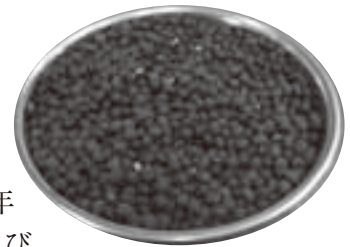
このような大勢で何かを競う催しというものは不思議なもので、実際に参加した利用者の皆さんに感想を聞くと、「普段歩くのが大変なのに、気付くと必死になっていて不思議と体が動いて驚いた」と笑顔で話される方も多くいました。



建部の里 だより

お正月の準備着々

今年も残すところ後わずかとなりました。建部の里も1年を通じ様々な活動を利用者の皆さんと行なってきました。何より地域の皆さんのご協力の下、裏の畑は今年もたくさんの野菜を収穫することができ、毎日食卓に穫れたての野菜が並び、その野菜を使っての料理や、昔懐かしいおやつを作り楽しみました。利用者の皆さんも畑の野菜達に最後の最後まで愛情を注ぎ、寒くなるつい先日まで収穫のお手伝いをしてくれました。



さて、今年も地域の皆さんに寄付していただいた渋柿は全部で200個余り、利用者の皆さんは包丁を使い手際よく皮をむきだすと、あれよあれよという間に終了し、慣れない職員に教える間もなく干し柿



をつるすと、土蔵の前はにぎやかになりました。「天気がいいから柿揉みするか…。豆たたきしなきゃ…」と、ここでも皆さんが大活躍です。今年は黒豆もたくさん穫れました。もういくつ寝るとお正月…。



建部の里は正月準備万端整いました。

ヘルパーステーションいちいの里より

パンフレットができました。ご利用についてはお気軽にご相談ください。

ヘルパーステーションの理念

誰もが安心して暮らす地域社会の実現を願い地域の皆さまの在宅生活を支えるための最善のサービスに努めます。



ホームヘルパーステーションいちいの里
ヘルパーステーション介護なんでも相談

〒290-1301 千葉県東葉郡山形村 4520-1
山形村保健福祉センターいちいの里内
TEL: 0439-231292 FAX: 0439-231296

※このサービスが利用いただける方
総合介護
介護の認定を受け、要支援または要介護となった方

障害者福祉サービス受給者証を交付された方

サービス提供区域

山形村(全域)、新井村(全域)、境町(全域、一部)
松本町(一部)、淡路町(一部)、新田町(一部)、新井町(一部)、新田町(一部)

サービス提供日(営業日) 年中無休



※こんなときにお気軽にご相談ください

- 介護の方法がわからない。
- 介護につかえてしまった。
- 一人暮らしが大変になった。
- 一人暮らしの気が心配だ。
- 家事のやり方を知りたい。
- お薬の外出、通院が困難になった。

ヘルパーステーション介護なんでも相談

指定介護保険事業所番号 2972700442
指定障害福祉サービス事業所番号 2012710013

ホームヘルパーステーション いちいの里

訪問介護事業 介護予防訪問介護事業
障害福祉サービス事業

利用のご案内



社会福祉法人
山形村社会福祉協議会

訪問介護サービス

| 身体介護 | 生活援助 |
|--|---|
| <p>食事介助 利用者の力の状態に合わせておいしく、楽しく食べていただけます。</p>  <p>入浴介助 浴槽のお風呂に安心して入れます。</p>  <p>更衣の介助 足浴・手浴</p> <p>排泄介助、おむつ交換 いつも気持ちよく過ごしていただけます。</p>  <p>生活リハビリのアシスト</p> | <p>調理</p>  <p>買い物</p>  <p>掃除</p>  <p>洗濯</p>  <p>※介護保険等では対応できないサービスや、利用者の力以外の掃除、買い物、洗濯、掃除などはできませんので、ご了承ください。</p> |

こんにちは！ヘルパーです。



介護保険制度により、「要介護」「要支援」の認定を受けた方は、訪問介護サービスを利用することができます。

初回はサービス提供責任者が同行します。サービス開始後、利用者の力の状態把握を目的に行い、責任者からケアマネージャーに報告をします。利用に基づき、ホームヘルパーが自宅を訪問して、身体介護や食事援助など、必要なサービスの提供を行います。



中大池お達者ふれあい寄席

12月2日(日)に中大池語り部の館にて、「中大池お達者ふれあい寄席」が開催されました。中大池分館社会部主催で、地区のお年寄りの方々を招待し、皆さんの健康と長寿を祝い、古今亭菊生師匠の落語を楽しみました。落語では、「権助魚」「新寿限無」の二席を聞き、皆さん笑いの絶えない時間を過ごしました。今後も地域の方と一緒に企画やイベントを通して、地域のつながりが深まるような取り組みをしていきます。



あたたかな善意、ありがとうございます



赤い羽根・歳末たすけあい 共同募金運動の実施結果



平成24年度／赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動を、10月1日から10月31日にかけて実施したところ、下表のような実績となり、全額を長野県共同募金会へ送金します。この募金は、その一部が平成25年度において、配分金として村社会福祉協議会へ交付され、各種福祉事業に充てられることとなっています。

平成24年12月14日現在（単位：円）

| 上大池 | 中大池 | 小坂 | 下大池 | 上竹田 | 下竹田 | 募金総額 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 219,000 | 165,000 | 406,000 | 193,500 | 443,000 | 516,000 | |
| 職域 | | 山形小学校 | 鉢盛中学校 | 村内公共施設等 | | 1,988,805 |
| 4,365 | | 14,038 | 26,193 | 1,709 | | |

共同募金の寄付

山形小学校より赤い羽根共同募金の寄付をいただきました。ボランティア委員会のみなさんが昇降口にて募金箱を持って呼びかけて、14,038円の募金を集めてくださいました。

また、今年は鉢盛中学校にもご協力いただき、26,193円を寄付していただきました。

みなさんのご協力ありがとうございました。



山形小学校：福祉学習

山形小学校の福祉旬間に1学年と3学年の児童の皆さんと一緒に福祉学習を行ないました。アイマスク体験やジェスチャーゲーム、ガイドヘルプ体験を通して、目が見えない、聞こえない体験を行ないました。



見えなくても他の感覚を使ってできることや、支えてあげる時にはどんなことに気をつければよいかなどを実際に体験しながら皆さんに考えていただきました。

子どもたちから様々なアイデアが出され、私たちも一緒に楽しく学ばせていただきました。



まほろば（社協広報／第58号）平成24年12月28日発行

- 発行所 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会（山形村保健福祉センターいちいの里内）
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263（97）2102 FAX0263（97）2108
ホームページアドレス <http://poponet-yamagata.or.jp/>
●「まほろば」に掲載できなかった記事についてはホームページに掲載されていますので是非ご覧ください。